

ちゃんと かわら版



5月4日に「B・L EAGUE2023-24シーズン」が閉幕したプロバスケットボールB1リーグ東地区所属、レバンガ北海道の折茂武彦代表取締役社長が8月9日、恵庭市役所を訪れ、原田裕市長らにシーズン閉幕の報告を行いました。

同チームは、昨シーズンのリーグ戦で東地区第7位という成績を残し、今年もB1残留が決定。1試合の平均入場者数が、昨年比166%の4617人と、2026年に予定されるBリーグの新たなトップカテゴリー「B・L EAGUE

PRIMEIR」の入条件である4千人を越えました。また、もう一つの条件である「拠点の規模」を満たすため、きたえーるの改修工事を10月まで行うなど2年後に向けた準備を進めています。

折茂社長は「今シーズンもご支援ご協力いただきありがとうございます。」



レバンガ北海道シーズン閉幕 新シーズン開幕に向けて決意を新たに

「地域と連携しながら未来の選手を育てるといふこと、非常に喜ばしく思います。これも市民の皆さまのご協力のおかげです。これからも私たちは恵庭市民のためにできることを考えながら、活動してまいります」と話し、選手たちのサイン入りユニフォームと額入りの写真を原田市長に贈りました。

新シーズンのB・L EAGUE2024-25は10月から始まり、開幕戦は帯広で開催されます。

(編集部 大谷)

ざいます。次のシーズンもチームでしっかりと準備していきたいと思っております。また、連携協定を結んだ道文科大学附属高のU-18卒業1期生、内藤耀悠選手と契約した件に触れ



山口県和木町教育親善使節団 原田市長らを表敬訪問

さん(かなな、同6年)の4人が8月6日、恵庭市役所を訪れ、原田裕恵庭市長らを表敬訪問しました。

両者は、明治時代半ばに旧和木村(現・和木町)や旧装束村(現・岩国市)

姉妹都市の山口県和木町から恵庭市を訪れている教育親善使節団の左から森本優歌さん(和木中3年)、村石空真さん(くうま、同3年)、安田颯翔さん(そうが、和木小6年)、松本葉那



など4村の68戸358人が恵庭に移住した縁で、1979年に姉妹都市提携が締結されました。1981年からは小・中学生の訪問教育親善使節団の交流事業がスタートし、今回で第24回目となります。施設見学やさまざまな体験を通じて情報交換や意見交流を図り、姉妹都市交流の絆を深めてもらうことを目的としています。

初めに同使節団と原田市長らが互いの名刺を交換。児童たちは、初めて北海道を訪れた感想を聞かれると「風が冷たくて、とても涼しいです」と答え、今日が猛暑日に

あたることを伝えると驚く場面もありました。原田市長は「短い間ですが恵庭の子どもたちとたくさん交流し、恵庭のまちを見て楽しんでください」とあいさつし、安田さんは「和木町と恵庭市の違いを体感してみたいです」と親善交流に意欲を見せました。

同使節団はこの日、市内の小学校児童12人とともに郷土資料館を見学、翌7日には大倉山ジャンプ競技場やエスコンフィールドを巡り、8日に和木町への帰路につきました。

(編集部 大谷)

この日、同協同組合の

愛情銀行は市民が寄付金や物品の寄附(預託)をして、必要としている市内の福祉施設などへ配分。ボランティア活動拡充に向け活用する仕組みです。

同組合は現在会員40社で構成し、まちづくりに関する事業活動を展開しているほか、地域イベントへの参加や地域貢献活動も積極的に行っています。三四会まつりには2017年から参加しており、コロナ禍による中断期間(20、22年)を除き、今年で5回目の出店を実施しました。

(編集部 大谷)

手と契約した件に触れ「地域と連携しながら未来の選手を育てるといふこと、非常に喜ばしく思います。これも市民の皆さまのご協力のおかげです。これからも私たちは恵庭市民のためにできることを考えながら、活動してまいります」と話し、選手たちのサイン入りユニフォームと額入りの写真を原田市長に贈りました。

新シーズンのB・L EAGUE2024-25は10月から始まり、開幕戦は帯広で開催されます。

(編集部 大谷)

恵庭まちづくり協同組合が寄付 出店収益の一部を愛情銀行へ

恵庭市内の除排雪、公園緑地・下水道施設・道路などの維持管理といった市民生活に不可欠な事業を行う「恵庭まちづくり協同組合」(齊藤一史理事長)は8月9日に恵庭市社会福祉協議会(船田清会長)を訪れ、7月27日に開催された「第12回恵庭三四会まつり」に出店した際の収益の一部5万702円を愛情銀行に寄付しました。

愛情銀行は市民が寄付金や物品の寄附(預託)をして、必要としている市内の福祉施設などへ配分。ボランティア活動拡充に向け活用する仕組みです。

杉町経営管理者は「組合員の協力もあり、今回も無事寄付することができました。福祉事業などの役に立てていただければ幸いです」とあいさつ。船田会長が「仕事がお忙しい中でまつりに出店し、収益の一部を寄付していただきありがとうございます。寄付金は高齢者や障害者のさまざまな社会福祉事業に活用させていただきます」と謝辞を述べました。

(編集部 大谷)

ああしたい、こうしたい。

もともとあったお家をベースに最大限やりたい事、子供のために考えを盛り込んだ、そんな家。船乗りだった義理の父から船舶照明も共に受け継ぎ、玄関からLDKに行く通路を照らしてくれています。

住んでみて、子供が家の中で楽しんでいること、家の中と同様に朝食やBBQを外で楽しめ、アウトドアリビングも楽しんでいます。

私たち、中古住宅を自分の暮らしに合わせて、リフォームしました。

ご予約制

Reform

リフォーム相談会

8.31日 - 9.1日

10:00 - 17:00 千歳市幸福3丁目11-8

ご予約は2次元コードよりお進みください

カタログのご請求もお待ちしております

ARTHOME 株式会社アートホーム

〒066-0083 千歳市みどり台北5丁目1番1号 TEL 0123-40-8686 info@k-arthome.co.jp

〔免許・許可〕建築士事務所/北海道知事登録(石)第5141号 建築業許可番号/北海道知事 般-01 第03372号 宅地建物取引業/北海道知事才ホ(5)第336号 北海道宅地建物取引業協会会員加盟